

純広告原稿のデジタルワークフロー全面移行のお願い

～ データ原稿のみでの入稿受入態勢に移行します ～

広告会社各位

(株) 学研パブリッシング
広告部 進行グループ
2009年12月

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

来年2010年4月から純広告原稿に関するデジタル・ワークフローへの全面移行に関し、下記ご案内とお願いを申し上げます。

本年11月、日本雑誌協会 広告委員会および雑誌広告デジタル送稿推進協議会において発表されました「純広告のデジタル・ワークフロー全面移行」、つまり「ポジフィルム受け入れ終了」表明に基づき、弊社発行各誌は来年4月より、純広告原稿に関してデジタル化への全面移行をさせていただきます。

平台校正機による色校の出校は取り止め、DDCP（JMPAカラー準拠）で出校させていただきます。

弊社発行の各誌はすでにCTPによる誌面制作に移行しており、デジタル・ワークフローでの＜全面（完全）移行＞は必要案件として残されていましたが、上記、協会・委員会の表明を受け、下記内容にて「データ入稿へ全面移行」とさせていただきます。

取引各社様にはよろしくご理解をいただき、併せて全面移行へのご協力をいただきます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

【実施時期】 2010年4月1日入稿分より

【対象誌】 弊社発行の各誌

【入稿形態】 J - PDF、J2、J1、F2、F1、でのデータ原稿のみ

※ポジフィルム入稿受付とオフセット校正出校は3月末をもって終了します。

※J - PDF：4点セット＜データ、色見本（出力見本）、PDF仕様書、プリフライトレポート＞

※フルデータ原稿：3点セット＜データ、色見本（出力見本）、仕様書＞でもれなく入稿してください。

【出校形態】 完全データ：JMPAカラー準拠デジタルプルーフ 校正枚数 3枚

J - PDF、J2、J1、はデータ校了での進行が基本

出校の場合は、JMPAカラー準拠デジタルプルーフ 校正枚数 2枚

【校正戻し】 デジタルプルーフに赤字を入れる場合は、制作者サイドで修正をお願い致します。印刷会社ではデータの修整は行ないません。

※色味に赤字を入れる場合も調整は制作者サイドで修正をお願い致します。

【制作ルール】 雑誌広告デジタル送稿推進協議会HPからダウンロード可能です。

<http://www.3djma.jp/>

この件に関するお問い合わせは弊社送稿担当者までお願い致します。

☎ 03-6431-1437